



知事が行く!
突撃取材! Part2
～三重のひと～

第4回 ～喜び・感動の連続!～

いきいき子育てに励むイラストレーター

インタビュー詳細版

(聞き手)

三重県知事 鈴木 英敬

(お話いただいた方)

まえかわ
前川 さなえさん
まえかわ まさき
前川 正樹さん



まえかわ まさき 前川 正樹さん まえかわ さなえさん 前川 さなえさん

知事 : まず、さなえさんにお伺いします。子育てで励みや支えになっていることは何ですか。

さなえ : 私は子育ての楽しさを皆さんに伝えるためにブログを続けていますが、そこに寄せられる読者の方々のコメントに、逆に私が励まされています。「私もこんなことあるんですよ」という話を聞いて、うちだけじゃないんだと安心することもありますね。

知事 : ブログを更新する上で心掛けていることはありますか。

さなえ : 子育ては楽しいということを伝えたいと思っています。最初は日記代わりに、「夜が全然眠れない」、「イヤイヤ期が始まった」など大変な様子を書いていたんですが、最近は意識して面白おかしいことだけを書くようにしています。こんな大変なことがあったということも最後に笑いに昇華できるようにします。

知事 : いいですね。子どもたちの予測不可能な動きも楽しい笑いに転換できますからね。そうそう、お子さんは外で遊ぶのが大好きなんだとか。ご家族のお気に入りの場所がありますか。

さなえ : 三重県は、海があり山があり自然がたくさんあるので、本当に子育てにいい環境だと思います。家のすぐ裏が公園なので、子どもたちは何かというと、すぐに飛び出して行って虫捕りなんかをして遊んでいます。うちの子どもは



ブログに登場する前川さん一家



育児ブログ「ぶにんぶ妊婦」と書籍化された本を紹介していただきました。

ゲームを持っていません。今のところ、外で遊ぶ方が楽しいみたいです。

知事 : 近くには南部丘陵公園がありますね。早朝から高齢者の皆さんがラジオ体操をするなど、いろんな人たちが集まってきて、いいですね。

今度は正樹さんにお伺いします。三重県では育児男子をPRしていますが、正樹さんが考える育児男子像について聞かせてください。

正樹 : 育児男子というと、子育ては女性がして、それを男性が手伝うという意識の方が多くかなと思います。うち共働きをしながら、育児に関してもゆるく役割分担をしていますが、私は脇役というつもりではやっていません。育児に関しては両方が主役でやっていくという意識が一番大切だと思います。妻の方が仕事が忙しい時は、私が毎日ごはんを作ったり、洗濯をやったりしています。

知事 : 正樹さんの得意料理はなんですか。

さなえ : アクア・パツアです。

知事 : ハイカラなものを作りますね。

正樹 : 三重県は魚がおいしいですからね。天然もののマダイやアサリが出ると作ります。

知事 : さなえさんから見て、正樹さんの育児男子っぷりはいかがですか。

さなえ : 子どもと、よく遊んでくれるので助かっています。また、夫に言わせると、私がちょっとずぼらで、家事で行き届かないところもあるようで、そこをカバーしてもらっています。夫は結構、家事に向いているのかもしれないね。

知事 : いいじゃないですか。では、正樹さん。子育ても仕事も楽しんでされている、さなえさんに一言。

正樹 : 一言でいえば「ありがとう」ですね。子育てを二人で役割分担しているといっても、やはり



さなえさんが描いた雑誌のイラストを見せていただきました。

一番肝心な子どもを産んでくれたことに「ありがとう」と言いたいです。また、妻は私より随分、年下なんですけど、いろんなことに気付かせてくれるところにも「ありがとう」と言いたいです。そしてこれからも夫婦が両輪となって一緒に親として成長していきたいなと思います。

知事 : いい話ですね。

さなえ : もっと普段から言ってもらってもいいですけど。



正樹さんにお話を伺っている間、さなえさんが私の似顔絵を描いてくれました。

知事：僕も今年の4月13日に2人目の子どもの出産に立ち会いました。出産するまで、この世の終わりかというくらい悶絶^{もんげつ}していた妻が、生まれた瞬間、優しい顔になる。母の優しさと強さはすごいですね。

さなえ：産んだ者の特権ですね。

知事：では最後に、今、子育て中の方々や、これから子育てしようとする皆さんにエールをお願いします。

さなえ：子育ては大変です。大変なんですけど、きっと後から振り返ると、すごく短い期間のことだと思います。そして得るものもすごく多いと思います。私も二人の子どもを育てていますので、共に子育てを楽しみましょう。

知事：ありがとうございます。僕も二人目の子どもが生まれたばかりですから、非常に共感できた中身の濃い取材でした。ありがとうございました。

一同：ありがとうございました。



そっくり！さすがプロですね。



※インタビューの内容は、読みやすさの観点から一部要約等を行っています。

※記載内容、写真の無断転載を禁じます。

※内容に関するご意見・お問い合わせは、三重県戦略企画部広聴広報課まで

〒514-8570三重県津市広明町13

☎ 059・224・2788 FAX 059・224・2032

E-mail koho@pref.mie.jp